



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名

聖路加国際病院 病理診断科 恒田 直人

【研究責任者】

聖路加国際病院 病理診断科 恒田 直人

当院で乳がんの手術を受けられた方を対象とした

細胞診検体を用いた免疫染色に関する研究

1.研究の対象

2020年8月～2022年10月までに当院で乳癌手術を受けられる方

2.研究の目的・方法

現在、細胞診検体において免疫染色の染色手順は決まったものがなく様々な検討や考察が行われています。今回乳がん手術時に摘出される検体から細胞診材料を作製し、免疫染色を施行し調査することで組織診検体との比較や標準となる染色手順の検討を目的としております。

なお、この調査では通常の医療行為はなく、手術材料から採取した検体を免疫染色、診療録（カルテ）や病理組織検体の結果に記載される内容についての調査となります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年12月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年2月13日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

【情報】

既往歴・病歴、抗がん剤治療の治療歴、病理組織診断結果（診断名・組織所見・免疫染色所見）、カルテ番号 等

【試料】

手術で摘出した組織診検体・細胞診検体 等

※患者さんから新たに検体を採取することはありません。